

受講料無料

川村学園女子大学

2016秋の公開講座（全8回）



M
A
T
S
U
R
I

祭・祀・政

10月8日（土）

①花まつりー誕生仏立像の諸相ー
日本文化学科 准教授 **真田 尊光**

②祭りが生まれる、祭りが変わる
ー民俗学の立場からみた祭りの現在ー
日本文化学科 講師 **及川 祥平**

10月15日（土）

③アメリカ大統領選挙2016
国際英語学科 講師 **倉林 直子**

④スポーツの祭典
オリンピックに出場して
心理学科 教授 **岩崎 利彦**

10月22日（土）

⑤アートイベントと観光まちづくり
ー瀬戸内国際芸術祭ー
観光文化学科 教授 **高山 啓子**

⑥エジプトの祭り
ー古代とイスラームのはざまー
史学科 講師 **辻 明日香**

10月29日（土）

⑦海の祭典
ーホーエンツォレルン家と海ー
史学科 教授 **生井澤 幸子**

⑧祇園祭ー中世人の祈りと祭りー
史学科 講師 **辻 浩和**

全講座に参加された方には修了証を発行します

会 場 川村学園女子大学
我孫子キャンパス 14号館大教室

開催日時 10月8日・15日・22日・29日
毎週土曜日
奇数講座 12:50ー14:20
偶数講座 14:30ー16:00

申込方法 ハガキ・FAX 又はEメールに
①講座番号 ④年齢
②住所 ⑤性別
③氏名（ふりがな） ⑥電話番号
をご記入の上、下記宛先へお申し込み下さい

申込先 川村学園女子大学公開講座係
〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133
FAX 04-7183-0115
Eメール koukaikouza@kgwu.ac.jp
件名「2016秋の公開講座申込」

申込締切 平成28年9月30日（金）消印有効

お問い合わせ
川村学園女子大学事務部 04-7183-0111
講座内容等は本学ホームページ「地域・産学連携 公開講座」まで



アクセス



校内駐車場・駐輪場あり

10/22は鶴雅祭が開催され、駐車場は混雑が予想されます。当日は鶴雅祭無料バスなど公共交通機関をご利用ください。

講演要旨・講師・著書の紹介

講座番号① 花まつり

日本文化学科 真田 尊光准教授

毎年4月8日、寺院を中心に行われる花まつりはお釈迦様の誕生を祝う祭事です。日本では古代からこの行事が行われ、誕生したばかりのお釈迦様の姿をあらわした誕生仏立像が儀式に用いられてきました。本講座では花まつりと誕生仏立像について、現存作例をもとに解説します。



専門：仏教美術史・日本美術史

学歴：高野山大学大学院博士課程、博士

『日本の芸術史 造形編2 飾りと遊びの豊かなかたち』(共著)藝術学舎、2013

『図像学1 イメージの成立と伝承(密教・垂迹)』(共著)竹林舎、2012

講座番号③ アメリカ大統領選挙2016

国際英語学科 倉林 直子講師

今年行われるアメリカの大統領選挙は日本においても関心が高く、予備選挙から様々なメディアで取り上げられています。ニュースを理解するのに役立つ大統領制や大統領選挙の基礎知識に加え、11月の本選に向けた動きを予備選挙から振り返ります。大統領選を通じて現代アメリカ社会の一側面を見ていきたいと思えます。



専門：アメリカ史、日米関係史

学歴：津田塾大学大学院博士課程後期

『リチャード・ニクソンのイメージ戦略とその効果』津田塾大学紀要46号、2014

『駐米米軍をめぐる政府と議会の関係—ジラード事件への対応を中心に—』麗澤大学紀要93巻、2011

講座番号⑤ アートイベントと観光まちづくり

観光文化学科 高山 啓子教授

祭りやイベントは、地域活性化の手段として活用されてきました。近年では全国各地で、祭りやイベントを「観光資源」としたまちづくり(観光まちづくり)が盛んに行われています。この講座では、観光まちづくりに活用されている祭りやイベントの中でも、特に芸術祭と呼ばれるアートイベントを紹介します。



専門：観光社会学

学歴：お茶の水女子大学大学院博士課程

『文化の社会学—実践と再生産のメカニズム—』(共著)有信堂、1996

『テーマ化される観光とまちづくり』川村学園女子大学研究紀要 第25巻、2015

講座番号⑦ 海の祭典

史学科 生井澤 幸子教授

南ドイツの出身ゆえに、ホーエンツォレルン家は、海には疎いといわれていた。だが、アーダルベルト王子はツォレルン港を建設し、また、皇帝ヴィルヘルム2世は海の祭典キラーヴォッヘの創設に貢献した。実は港も祭典も、元をたざせば二人の趣味が高じて生じたもの。その変遷を辿り、今でも国家的といわれる所以について考えます。



専門：人文地理学

学歴：お茶の水女子大学大学院博士課程

『朝倉世界地理講座 9 中央・北ヨーロッパ』(共著)朝倉書店、2014

『拡大EUとニューリージョン』(共著)原書房、2012

講座番号② 祭りが生まれる、祭りが変わる

日本文化学科 及川 祥平講師

「祭り」からは「伝統」がイメージされやすい。しかし、「伝統」らしきそれらは、過去からの絶えざる「変遷」を経て「いま・ここ」にある。また、「祭りらしきもの」は、今様のかたちをとりながら、新たに発生してもいる。本講演では、活発な変化と生成の中にあるきわめて現代的なものとしての「祭り」の姿を紹介します。



専門：民俗学(民俗宗教論、現代民俗論)

学歴：成城大学大学院博士課程、博士(文学)

「死者表象の民俗学的研究」(博士学位請求論文)、2015

講座番号④ スポーツの祭典オリンピックに出場して

心理学科 岩崎 利彦教授

私は1992年のスペイン、バルセロナで開催された、スポーツの祭典オリンピックへ、陸上競技の日本代表として出場しました。また陸上競技においては、ワールドカップ、世界選手権、アジア大会にも出場しております。それぞれの大会での、経験談を中心に話してできればと思います。



専門：スポーツ健康科学

学歴：順天堂大学

主な出場大会：バルセロナオリンピック(1992)

世界陸上競技選手権・東京(1991)他多数

講座番号⑥ エジプトの祭り

史学科 辻 明日香講師

中東にもお祭りがあると聞くと、皆さん驚かれるでしょうか。大勢の人たちが集まり、夜店が開かれ…なにやらなじみのある光景です。エジプトの祭りは、古代エジプトにその起源を求められるものや、イスラームの宗教と密接に関わりあるもの、聖人の生誕祭など、様々です。エジプトの人々が祭りに寄せる思いやその伝統について紹介します。



専門：エジプト史、イスラーム史

学歴：東京大学大学院博士課程、博士(文学)

『<驚異譚>の文化史』(共著)名古屋大学出版会、2015

講座番号⑧ 祇園祭

史学科 辻 浩和講師

日本の祭りは中世に始まりました。中世の人々は、なぜ、どんな思いで祭りを始めたのでしょうか。今回は特に「夏祭り」に注目して考えます。中世に始まった祇園会や盆踊りは、今でも千葉県の各所で行われていますが、これらはなぜ夏に行われるのでしょうか。そこから、中世に生きた人々の生活と、彼らの祈りについて解き明かします。



専門：日本中世芸能史

学歴：京都大学大学院人間・環境学研究科修了、博士(人間・環境学)

『保元・平治の乱と平氏の栄華』(共著)清文堂出版、2014

『古代から中世へ 日本の歌謡を旅する』(共著)和泉書院、2013